

科 目 名		担当教員名	科目別種類	単位数	選択・必修別
専門ゼミナール2		飯田		1	必修
開講年次	教 職 課 程	資 格 と の 関 連			
3 年秋		実務統計講座受講支援			

概要

現代企業において、その経営上の意思決定のために、科学的な問題解決へのアプローチと、大量かつ高度な情報処理がますます必要とされています。とりわけコンピュータで情報処理をするために、数学的あるいは統計的手法の重要性が益々認められつつある。
ゼミで学習する内容は、現代の企業経営管理に要求されている情報処理のための数学的および統計的方法の体系である。本ゼミはその基本的な部分を学び、経営上の意思決定のためにどのように利用されているか、ケース・スタディ・実例を通してエクセルで処理して学習する。

到達目標・意義

- ① パソコンを使ってデータ処理・分析ができるようになります。
- ② 「統計官」、「統計主事」、「品質管理推進責任者」の知識が身につく資格取得が可能になります。
- ③ 卒業研究のテーマの設定ができるようになります。
- ④ 学生が就職以前に実用・実践レベルのITリテラシーを身につけられるようにします。

発揮する能力要素

・主体性・課題発見力・計画力・想像力・発信力・規律性・傾聴力

実施方法

毎回、パソコン教室で実際にExcelの計算、関数、グラフ作成、分析ツール、データベース機能を活用することにより論理的に考え分析する能力を養成し、そして課題を解決していこうとする姿勢、諦めず継続して答、結論を出そうとする力を養成します。

教科書および参考書

参考文献：ゼミの中で適宜指示します。

関連科目

IT、WEB、インターネット、経営分析関連の講義の受講を薦めます。

履修に必要な予備知識や技能

複雑な数式を多用しての解説は極力避けますので、履修に当たって四則演算 $+$ 、 $-$ 、 \times 、 \div と関数程度の数学的予備知識があれば十分です。

受講生への希望・要望、学習上の助言

成績評価において、授業時における課題演習を重視しますので欠席・遅刻をしないようにして下さい！！

評価方法	筆記試験	レポート試験	小テスト	出席回数授業態度	成果発表	その他	合計
評価の割合	なし		60		30	10	100

評価についてのコメント

- ・ 毎回、課題演習を行うので、それを提出すれば各回5点を与えます。
- ・ ゼミは15回あるので全部出席・提出すれば75点が貰えることとなります。
- ・ ただし、期末試験トが0点の時はこの課題提出合計点を与えない。つまり不合格となります。
- ・ 毎回、課題をクリアブックに整理し提出しなければなりません。クリアブックを忘れた場合は課題得点5点はありません！
- ・ 6回欠席した場合は即不合格とします。
- ・ 単位を取得するためには出席することが一番大切です。